

中期経営計画の実現に向けた生産性向上と デジタル基盤構築を目的に、「DX推進部」を新設

～ 生産・技術力の高度化とデジタル活用による コスト競争力の強化を、全社横断的な組織で推進 ～

守谷輸送機工業株式会社（本社：神奈川県横浜市金沢区、代表取締役社長：守谷 貞夫、証券コード：6226）は、2026年10月1日付で、技術本部に「DX推進部」を新設したことをお知らせいたします。

当社は、2026年度から始まる中期経営計画「Moriya Re-acceleration Plan 2(以下 MRP2)」を策定し、「安定」と「挑戦」のバランスを取りつつ、中長期的な企業価値向上を目指してまいります。その基本方針の一つである「生産・技術力の高度化とデジタル活用によるコスト競争力強化」の実現に向けて、今回新設した「DX推進部」が全社横断的な組織として、各部門と連携しながら、業務プロセスの改革とデジタル基盤の構築・強化を推進してまいります。

● 「DX推進部」設立の目的・背景

1. 中期経営計画（MRP2）の実現に向けて

事業規模の拡大や顧客ニーズの多様化が進む中で、当社が持続的な成長を実現するためには、業務量の増加に対応するだけでなく、部門をまたぐ業務プロセスや情報の流れを見直し、より効率的かつ生産性の高い業務基盤を構築することが重要となっています。

MRP2では、「生産・技術力の高度化とデジタル活用によるコスト競争力強化」を基本方針の一つに掲げ、社内業務のデジタル化や部門間連携を高めるための基盤整備、業務効率化・生産性向上を図ってまいります。また、データベースの一元管理等を通じた保守サービスの高度化など、デジタル技術を事業競争力の向上に繋げていくことを目指します。

このような取り組みを継続的かつ全社横断で推進するため、DXに関する施策を統括し、業務とデータ・システムを一体的に捉えて改革を進める専門組織として、DX推進部を新設いたしました。

2. 全社横断型の生成AI活用推進プロジェクトからの発展

当社では、DX推進に向けた取り組みの一環として、2025年9月から、外部のファシリテーターを招いて、生成AI活用推進プロジェクトを進めてまいりました。各部門から参加した中堅・若手社員17名を中心に、生成AIを安全かつ有効に活用するための知識・スキルの習得と、現状の業務課題の解決に生成AIを活用するワークショップなどを行ってきました。

同プロジェクトの参加メンバーは、生成AIの基礎知識の習得にとどまらず、そのノウハウを活用して各々の部門の業務改善・効率化を主体的に推進しており、社内におけるデジタル人材の育成に繋がっています。

また、このような活動を進める中で、個々の業務や部門単位での改善にとどまらず、業務プロセスの可視化・標準化や、データ・システムの連携を全社横断的に進めていく必要性が一層明確となったことを踏まえ、その推進組織としてDX推進部を新設することとなりました。

●新設部門の組織体制・概要

- ・組織名称：DX推進部 ・所属：技術本部 ・設置日：2026年10月1日
- ・主な役割：
 - ・全社DX・業務改革の推進
 - ・業務プロセスの可視化・標準化（Saas活用、システム連携、生成AI活用）
 - ・DX“人財”の育成と変革意識の醸成
 - ・デジタル基盤の構築・強化

● 守谷輸送機工業株式会社 会社概要

会社名：守谷輸送機工業株式会社（<https://moriya-elevator.co.jp/>）

代表者名：代表取締役社長 守谷貞夫

所在地：神奈川県横浜市金沢区福浦1-14-9

事業内容：各種エレベーター、垂直自動搬送機の設計、製作、販売、据付、保守・修理、入替等に関する全業務

【本件に関するお問い合わせ】

守谷輸送機工業株式会社 経営企画部 経営企画室：仲泊

DX推進部：佐名手（さなて）

TEL:045-785-3111 FAX:045-780-1881 MAIL: soumu-ir@moriya-elevator.co.jp